

液化石油ガス料金 平成 31 年 2 月検針分

■ 料金表

湖陽住宅団地

	1か月の ご使用量	基本料金 【1か月につき】	2月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 1月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	712.8000円 (660.00円)	479.3364円 (443.83円)	476.9172円 (441.59円)
B	8.1m ³ ~	791.4240円 (732.80円)	469.5084円 (434.73円)	467.0892円 (432.49円)

() 内は消費税等相当額加算前

瑞樹団地

	1か月の ご使用量	基本料金 【1か月につき】	2月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 1月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	712.8000円 (660.00円)	459.6264円 (425.58円)	457.2072円 (423.34円)
B	8.1m ³ ~	791.4240円 (732.80円)	449.7984円 (416.48円)	447.3792円 (414.24円)

() 内は消費税等相当額加算前

南森本

	1か月の ご使用量	基本料金 【1か月につき】	2月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 1月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	712.8000円 (660.00円)	463.8492円 (429.49円)	461.4300円 (427.25円)
B	8.1m ³ ~	791.4240円 (732.80円)	454.0212円 (420.39円)	451.6020円 (418.15円)

() 内は消費税等相当額加算前

大浦・東蚊爪

	1か月の ご使用量	基本料金 【1か月につき】	2月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 1月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	712.8000円 (660.00円)	451.4292円 (417.99円)	449.0100円 (415.75円)
B	8.1m ³ ~	791.4240円 (732.80円)	441.6012円 (408.89円)	439.1820円 (406.65円)

() 内は消費税等相当額加算前

料金計算式

早収料金 = 基本料金 + 従量料金単価 × ご使用量 [円未満切り捨て]

《具体的計算例》

 湖陽住宅団地で1か月のご使用量が10.0m³の場合（「湖陽住宅団地」の「料金表B」が適用されます）

 早収料金 = 732.8円 + 434.73円 × 10 m³ = 5,080円 [円未満切り捨て]

→ ご請求額（消費税込み） 5,486円

液化石油ガス料金 平成 31 年 2 月検針分

■ 原料価格の変動状況

(1)平均原料価格の実績

	30年9月～30年11月 (2月検針分に適用)	30年8月～30年10月 (1月検針分に適用)
平均原料価格	71,240円/ト	70,110円/ト
LPG (プロパン) 平均輸入価格 (貿易統計値)	71,240円/ト	70,110円/ト
基準平均原料価格 [※]	86,340円/ト	

※ 料金改定時に設定した原料価格 (本市は平成26年9～11月の3ヶ月間の平均値)

(2)1m³あたりの単位料金調整額の算定方法

①原料価格変動額の算定

71,240円/ト (平均原料価格) - 86,340円/ト (基準平均原料価格) = ▲15,100円/ト [100円未満切捨て]

②1m³あたりの単位料金調整額の算定 (消費税抜き)

▲15,100円/ト (原料価格変動額) / 100円 × 0.204 ^{※1} = ▲30.81円/m³ ^{※2}

※1 変動額100円につき単位料金を1m³あたり0.204円調整

※2 マイナス調整の時は小数第3位を切り上げし、プラス調整の時は小数第3位を切り捨てる

(3)1m³あたりの単位料金調整額の比較 (対前月/税抜き)

平成31年2月分 調整額(A)	平成31年1月分 調整額(B)	差額(A) - (B)
▲30.81円/m ³	▲33.05円/m ³	+2.24円/m ³

(4)平均的なガス使用量のご家庭 (10m³/月[※]) における影響額 (一般料金: 税込)

地区	平成31年2月分 適用料金 (A)	平成31年1月分 適用料金 (B)	影響額 (A) - (B)
湖陽住宅団地	5,486円	5,461円	+25円
瑞樹団地	5,288円	5,265円	+23円
南森本	5,330円	5,307円	+23円
大浦・東蚊爪	5,206円	5,182円	+24円

※ 10m³/月は、家庭用のお客さま1件あたりでの平均ガス使用量

(平均ガス使用量は、平成18年度～平成22年度の5カ年平均により算定しています)